

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	鶴岡市役所 羽黒庁舎
実習期間	平成 29 年 8 月 30 日～平成 29 年 9 月 1 日、9 月 4 日～9 月 5 日
学生氏名	加藤 梨玖
実習プログラム	<p>8 月 30 日 産業建設</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・創造の森イベント準備</li><li>・いでは文化記念館受付業務</li><li>・五重塔ライトアップ記念品準備</li></ul> <p>8 月 31 日 産業建設</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・月山観光ガイド記念品準備</li><li>・いでは文化記念館収蔵庫整理</li><li>・山伏修行体験準備</li></ul> <p>9 月 1 日 産業建設</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・建設部門の書類整理</li><li>・羽黒地域の文化財等に関する現地学習</li></ul> <p>9 月 4 日 総務企画課</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・羽黒庁舎の業務内容について 各課案内、施設見学</li><li>・地域振興業務補助</li><li>・選挙事前準備業務</li></ul> <p>9 月 5 日 総務企画課</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニティ防災業務 「手向地区防災訓練事前準備」</li><li>・社会教育業務</li><li>・「羽黒大家族会議」</li></ul>
学び・気づき (300 字程度)	<p>実習では、観光、防災、地域振興、選挙などの多種類の業務に就かせていただき、行政の一端について学ぶことができた。観光では、ガイドツアーの下見に同行させていただき羽黒町の文化財や自然の魅力について知ることができた。また、羽黒町の魅力について語り合う、世代間交流の場に参加させていただくことによって、地域の歴史や伝統を共有することができましたし、このような交流の機会が地域への関心を高めることに繋がると気づいた。</p> <p>また他の業務では、自治体職員の責任の重さを知ることができた。仕事一つ一つの責任が重いため、書類の確認作業一つでも、誤りがないか何度も確認することの大切さを学んだ。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>実習を終えての今後に向けた抱負は、自身のパソコンの操作技術向上である。実習では、パソコンへデータ入力することがあったのだが手際よくできず、自身のパソコンの操作技術が不足していると思い知らされた。パソコンを使用して仕事することは、今の社会では当然のことなので、これからの大学の講義等において自身のパソコンの操作技術を高めていきたいと思う。また、大学の講義だけでなく空いた時間も利用して技術の向上を図りたい。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>気づいた魅力は、さまざまな課や係で業務をさせていただけるので、行政がどのような仕事をしているかを幅広く知ることができる。そして行政には、町のイベントを取材するために外に出たりする仕事がある課や、データをひたすら入力するデスクワークを行う課があるなど、課によって、業務内容が大きく違うということを実際に体験させていただき学ぶことができた。また、その自治体が推進している事業について知ることができるのも魅力の一つである。また書類の確認作業一つでも、誤りがないか何度も確認するような業務を通じて、地方自治体職員の責任の重さを知り、仕事一つ一つの重要性を学ぶことができる。このように実習先では、業務の内容やその業務の重要性を学ぶことができます。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	<div data-bbox="403 1104 986 1433" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1010 1111 1410 1240">観光ツアーの下見に同行させていただいたときに撮影した月山の写真</p>

(別紙 12)

大学「地(知)の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	鶴岡市 商工観光部 観光物産課
実習期間	平成 27 年 8 月 15 日 ~ 平成 27 年 8 月 19 日
学生氏名	本間 可楠
実習プログラム	<p>今回、私は5日間の期間で主に役所内での業務に加え、外出先での業務に同行させていただきました。</p> <p>1 日目 ~午前~ ・ガイドランス (役所内の説明等) ・観光パンフレット送付 ~午後~ ・荘内大祭行列随行</p> <p>2 日目 ~午前~ ・観光パンフレット送付 ・ガイド協議会定例会 同行 ~午後~ ・鶴岡駅前 FOODEVER 観光案内所窓口業務補助</p> <p>3 日目 ~午前~ ・観光パンフレット送付 ・加茂水族館売店受付業務補助 ~午後~ ・加茂水族館売店受付業務補助</p> <p>4 日目 ~午前~ ・市街地観光および施設見学 同行 ~午後~ ・鶴岡市藤島視察(外回り) ・鶴岡ツーリズム facebook ページ作成</p> <p>5 日目 ・1日を通して、鶴岡駅前 FOODEVER 内 観光案内所窓口スタッフ</p>
学び・気づき (300 字程度)	<p>私は鶴岡市役所でのインターンシップをするにあたり、「コミュニケーションスキル」、「その業務内での必要なスキルの把握」、「社会人としてのマナーの定着」の主に3つを学ぶことができた。これ以上に、様々な業務を通し市職員としてのやりがいや仕事をするこの本質など多くを学ばせていただいた。特に印象に残っているのが、市職員は地域住民との関わりが非常に深いということである。これら学んだ事のほとんどが働く上で当たり前と言われるようなことばかりである。しかし、その当たりの事を当たり前のように行動に移すことは、容易でないということを5日間の実習を通して学んだ。これら学んだ事は、私がこれまで抱いていた「市役所職員の仕事＝任された仕事を従順に遂行すること」という先入観とは異なり、多くの気づきと驚きがあった。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>今までは一市民としてサービスを受ける側でしたが、5日間という短い期間ではあるがそのサービスを運営する立場に立たせて頂くことで、地域を活性化させるような事・モノの企画や運営をしていくことの難しさを感じることができた。皆を楽しませるようなイベントを運営していくことは、予算など諸々の事を考慮すると容易なことではない。しかし、そのような一つ一つの仕事には最後まで大きな責任があり、その中でも情熱を持ち、働くことに向き合う姿勢があるのだと、とても考えさせられるインターンシップとなった。</p> <p>学び、身につけたスキルや考えは、今後の学生生活や就職活動、また就職後の仕事など様々な場面で生かすことができる。今回のインターンシップを終え、そこでどどまるのではなく、どんな形でも今後繋げていきたい。</p>

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力  
(300字)

市職員は決められた仕事を従順に遂行するというイメージを持つ人が多いと思われるが、決してそうではない。「その業務が何のために行なうのか」や「その業務をして結果どうしたいのか」が常に求められ、柔軟性が必要である。しかし、その中で地域の人と関わる機会がとても多く、人との関わりが非常に深いのである。また、職員一人一人が情熱を持ち仕事をしている中で、職員間での他愛のない会話から和やかな雰囲気もあり、やりがいを持って働けると実感できた。これらの事から、鶴岡市役所で働く事には多くの魅力がある。  
鶴岡市役所でのインターンシップでは、これらの魅力を知るだけでなく、仕事に対する考えや、働くことに向き合う姿勢を実感できるためぜひ参加してほしい。

写真(1~3点)



図1:市街地見学および観光の様子



図2:駅前 FOODEVER(中に鶴岡市観光案内所)入り口前の様子

--	--